科目ナンバリング	U-LAS14 20076 LJ68						
授業科目名 <英訳>	真菌自然史 Natural History of Fungi			担当者所属 職名・氏名	地球環境学舎 教授 市岡 孝朗 人間・環境学研究科 助教 佐藤 博俊		
群	自然科学科目群	分野(分類)	生物学(各論)		使用言語	日本語	
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	木1	配当学年	主として1・2回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

動物とも植物とも異なる、真菌（菌類）という生物群が存在することを理解した上で、菌類の系統・形態・多様性・生態・機能・生態系の中での役割・他の生物との相互作用、人間にとっての利用可能性などに関する理解を深めることを目的としている。多くの菌類は微小な菌糸という形で生育しているため、自然の中ではけっして目立つ存在ではないが、その多様性はおどろくほど高く、またそれぞれの種は特異な能力も持つ。また、森林生態系において、菌類は植物遺体の分解者として物質循環の重要な担い手になっているだけでなく、植物の根と菌根を形成することによって、植物の栄養吸収や防衛に加担している。菌類の世界をのぞくことは、生物の進化や、生態系のなりたちを理解することに大きく貢献するにちがいない。

[到達目標]

自然の中ではけっして目立つことのない「かび」や「きのこ」が、いかに多様で、またいかにすぐれた能力を持っているかを理解し、それらが生態系の中で、あるいは人間社会の中で果たしている計り知れない役割を理解する。

[授業計画と内容]

以下の項目に従って進める（項目によっては2週にわたる）。

1. 菌類の特徴と系統的位置
2. 鞭毛菌類と接合菌類
3. 子のう菌類（かびと酵母）
4. 担子菌類（きのこ）
5. 森林における分解連鎖
6. 寄生菌の進化
7. 菌根共生
8. 菌従属栄養植物
9. 菌類の分類
10. 菌類の系統と進化
11. 菌類の利用

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

定期試験（筆記）により評価する。

真菌自然史(2)へ続く↓↓↓

真菌自然史(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

国立科学博物館 『菌類のふしぎ：形とはたらきの驚異の多様性』（東海大学出版会）ISBN:978-4-486-01793-6

保坂健太郎 『小学館の図鑑NEO　きのこ』（小学館）ISBN:978-4092173224

細谷剛ほか 『カビ図鑑』（全国農村教育協会）ISBN:978-4-88137-153-4

日本菌学会 『菌類の生物学 ―分類・系統・生態・環境・利用―』（共立出版）ISBN:978-4320057326

大園享司 『菌類生態学』（共立出版）ISBN:978-4320057876

[授業外学修（予習・復習）等]

かびやきのこの図鑑等で、身近な菌類への関心を持ち続けることを推奨したい。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]